

2014 年 3 月 25 日

IEEE スマートシティ都市化イニシアティブ・チャレンジ参加へのご案内

新発足の IEEE スマートシティ・イニシアティブは、
人口増加に対応するスマートシティを推進する地方自治体のリーダーの皆様のお手伝いをします。

人類の科学技術の発展に寄与する、世界最大のプロフェッショナル組織である IEEE（アイトリプルイー）は、「IEEE スマートシティ都市化イニシアティブ・チャレンジ」をスタートします。国連は 2050 年までに都市部の居住者がほぼ倍増すると予想しています。IEEE では、スマートシティに関連してこの問題の専門家チームによる戦略的かつ実践的な助言、および都市部の生活環境の拡大に伴う土地、資源、サービス等への増大する需要の様々な問題解決のための教育やトレーニングを提供します。

IEEE スマートシティ・イニシアティブのガイルズ・ベティス（Gilles Betis）は、「持続可能なスマートシティの設計には市民のエネルギー、水、交通、通信と公衆衛生、および安全についてよく計画された立案が必要である」と述べています。「住人が生活し、働き、楽しく暮らすために清潔で経済的かつ安全な環境を提供する一方で、重要なインフラをスムーズに運用するために必要なあらゆるサービスを提供する地方自治体のお手伝いをするために、IEEE はパワフルで才能のある専門家集団を作りました。」

IEEE スマートシティ・イニシアティブに選ばれた地方自治体は、洞察力に満ちた専門家から成る IEEE チームと協働する機会が得られ、そのチームや公共・プライベート・ボランティアの各セクターのメンバーとともに増大する都市人口に対処するための問題点の提起や必要性の発信を行います。IEEE はそれぞれの選ばれた自治体において、開始ワークショップの開催、携わる大学院生への支援（修士および博士課程）、オンライン教育課程の開発支援、スマートシティ関連の国際会議の開催、講演会の開催支援等を行います。選ばれた地方自治体は、進行中のスマート化の過程で見られる特定の主題に焦点を当てて、IEEE が 2016 年を通じて関わる 10 都市のコミュニティに参加することもできます。

「IEEE スマートシティ都市化イニシアティブ・チャレンジ」参加に関心のある地方自治体は、<http://smartcities.ieee.org/> で申込書式をダウンロードできます。申込期限は 2014 年 5 月 16 日（金）になります。有効な申請には、応募者となる地方自治体が IEEE スマートシティ・イニシアティブから提供されるリソースを十分に活用できること、その自治体のスマートシティへの進化が市の重要な課題に取り組むうえでの能力を実質的に強化する潜在性を持つこと、そしてその市がそのプロジェクトに人的資源と資金を投入する計画を示せること、などを明確にしてください必要があります。

2013 年 10 月には、メキシコのグアダハラ市が「IEEE スマートシティ都市化イニシアティブ・チャレンジ」の先導自治体としてスタートしました。「グアダハラは、このイニシアティブの先導例としても将来のプロジェクトのための素晴らしいモデルとしても理想的な候補でした。というのも、この市はスマートシティへの移行を進めるうえで「創造デジタル都市（CCD）」と呼ばれる組織を既に持つ



ていたからです。」とベティスは言います。「この取り組みは歴史的な市の中心部の再生のための明確な戦略の一部です。」

この新しい「IEEE スマートシティ都市化イニシアティブ・チャレンジ」の詳細および基準と応募方法については、<http://smartcities.ieee.org/> をご参照ください。応募は IEEE フューチャー・ディレクションズのハロルド・テッパー (Harold Tepper) 宛にメールにて提出をお願いします (smartcities-cfi@ieee.org)。応募締切は 2014 年 5 月 16 日です。

IEEE について

世界最大の技術プロフェッショナル組織である IEEE (アイトリプルイー) は、人類の役に立つ技術の進展に貢献しています。その頻繁に引用される出版物や国際会議、技術標準規格および教育活動などを通じて、IEEE は航空宇宙システム、コンピュータや通信から生体医療エンジニアリング、電力および家電までに至る様々な分野での信頼される声となっています。